

RIDAM EV スクーター 取扱説明書

この度はRIDAMをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。



目次

1.1	運転免許証について	3
1.2	EVスクーターについて	3
2.1	取扱説明書について	4
2.2	注意・警告について	4
3.1	製品概要	6
3.2	組み立て方	7
3.3	EVスクーターの操作方法	14
4.	充電について	16
4.1	充電の方法	16
4.2	安全に充電していただく為の注意点	16
5.	乗車前の注意事項	17
6.	安全上の注意	17
7.	日常点検	18
8.	メンテナンス	19
9.	保管の仕方	20
10.	廃棄処理	20
11.	製品仕様	20

1.1 運転免許証について

- ・本車両を一般公道で運転するには、運転免許証(普通自動車免許もしくは原付免許)が必要です。ご自身の免許証で運転できるか確認してください。
- ・本車両は第一種原動機付自転車です。
- ・本車両の乗車定員は運転者のみの1人です。

1.2 EVスクーターについて

① 道路交通法上の取り扱い

- ・本車両は道路交通法上、原動機付自転車に分類されます。従って運転に際しては免許証の携帯、ヘルメットの装着が必要です。本車両は第一種原動機付自転車です。公道を走行するにあたっては、居住地の役所(市役所、区役所等)でナンバープレートを取得する必要があります。

② ナンバープレートの取得

- ・第一種原動機付自転車のナンバープレートは、各役所の税金関係の窓口※で交付されます。交付にあたり必要な書類等は以下の通りです。

<必要な書類等>

- ・軽自動車税申告(報告)書 兼 標識交付申請書(各役所のHPを参照)
- ・販売証明書(当社で発行いたします)
- ・取扱説明書
- ・ご購入者の印鑑
- ・本人確認資料(運転免許証、保険証、マイナンバーカード、パスポートなど)

※税金関係窓口は各役所で窓口の課が異なりますので、事前に各役所のWEBサイトで確認してください。

③ 自動車損害賠償責任保険への加入

- ・本車両を運転する際には、自動車損害賠償責任保険(通称:自賠責保険)への加入が法令で定められています。必ず加入してください。

※万が一の事故に備えて、追加で対人対物賠償保険に加入することをおすすめします。

(弊社では保険のお取扱はしておりません)

④ 原動機付自転車の法令順守

- ・運転する際には、道路交通法によってヘルメットの着用、ヘッドライトの点灯が義務付けられています。運転中はヘッドライトを必ず電源ONにしてください。
- ・本車両に運転者以外の人を乗せることは、道路交通法によって禁止されています。また法定最高速度は30kmです。
- ・自動車損害賠償責任保険(通称:自賠責保険)への加入が法令で定められています。運転を始める前に必ず加入してください。
- ・排気量50cc以下の第一種原動機付自転車は、通行帯が3車線(片側、一方通行とも)以上ある道路の交差点を右折する場合に「二段階右折」という右折方法を取ることが義務付けられています。詳細は該当する法令をご確認ください。
- ・違法改造は法令により禁止されています。改造により操縦安定性や走行性能が悪化し、車両寿命を縮め重大な事故や故障の原因にもなります。なお改造車両は保証対象外です。

2.1 取扱説明書について

本車両に安全にお乗りいただくために、使用前に本取扱説明書を良くお読みください。

この取扱説明書に記載されている警告と注意事項をお守りいただくことにより、安全に製品をご利用いただくことができます。ご不明な点がございましたら、購入店舗、または正規代理店アフターサービスまでご連絡ください。

2.2 注意・警告について

本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容(表示図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

電源プラグや充電プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

電源プラグや充電プラグは根元まで完全に差し込んでください。
感電や火災の恐れがあります。

火気に近づけないでください。
火災や破裂により怪我をする恐れがあります。

窓を閉めきった車中や直射日光のあたるところ、高温になるところにバッテリーを放置しないでください。
火災や破裂により怪我する恐れがあります。

屋外の雨に濡れるところや浴室・洗面台など水のかかる場所で充電したり、保管・放置しないでください。
感電や火災の恐れがあります。

アダプター・コード・プラグが傷んだものは使用しないでください。
感電や火災の恐れがあります。

幼児の手の届くところに置かないでください。
感電やケガの恐れがあります。

分解や改造はしないでください。
感電や火災の恐れがあります。

端子に金属などを接触させない。また、針金などの金属の上に置いたり、一緒に保管・放置しないでください。
感電や火災の恐れがあります。

バッテリーを長時間、放置しないでください。
使用せずにバッテリーを長期間保管すると劣化の原因となります。1カ月に1回は充電してください。

バッテリー・充電アダプター・コードは本車両専用です。その他の用途に使用しないでください。
火災や破裂により怪我をするおそれがあります。

バッテリーを充電する際は専用の充電アダプターを使用してください。
他の充電器を使用すると、火災やバッテリーの破裂により怪我をする恐れがあります。

<p>電源はAC100Vを使用してください。 定格外のものを使用すると火災の恐れがあります。</p>
<p>充電中はバッテリーやアダプターの上や近くに物を置いて放熱を妨げないでください。 火災のおそれがあります。</p>
<p>充電が完了したら、プラグをバッテリーから必ず外してください。 差し込んだまま放置すると火災の原因になります。</p>
<p>コードを抜き差しする際はプラグを持って行ってください。コードを持ってバッテリーやアダプター持ち上げたりしないでください。 破損や火災、感電の恐れがあります。</p>
<p>バッテリーやアダプターを落下させたり強い衝撃を与えないでください。 バッテリーやアダプターが破損し、火災の恐れがあります。</p>
<p>お手入れの際にベンジン、シンナー、アルコールを使用しないでください。 商品の劣化や火災の原因となる恐れがあります。</p>
<p>長時間しようしない際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の恐れがあります。</p>
<p>バッテリーやアダプターに万が一不具合が生じた際は、速やかに使用中止し、販売店もしくは弊社サポートセンターにご連絡ください。 ご自身での分解、修理は行わないでください。火災や怪我の原因となります。</p>

<p>⚠ 注意</p>
<p>走行中に異音が発生したり、異常だと思ったら使用を中止して販売店で点検・整備してください。 そのまま使用を続けると事故の原因となる恐れがあります。</p>
<p>不安定な場所はさけて必ず平らな場所に駐輪してください。 また風が強い時などの屋外での駐輪はお止めください。 感電や火災の恐れがあります。</p>
<p>走行直後は稼働部などには触れないでください。 稼働部が高温になっている事があり、火傷や怪我の恐れがあります。</p>
<p>電源が入っている状態で点検を行わないでください。 思わぬ事故や怪我のおそれがあります。</p>

3.1 製品概要

RIDAMは小型の個人向けスクーターであり、軽量構造デザイン、リチウム電池パワーにより快適な乗り心地を実現します。

各部名称



車体番号刻印場所

ナンバー取得には車体番号が必要になります。
販売証明書に車体番号のご記入をお願いします。



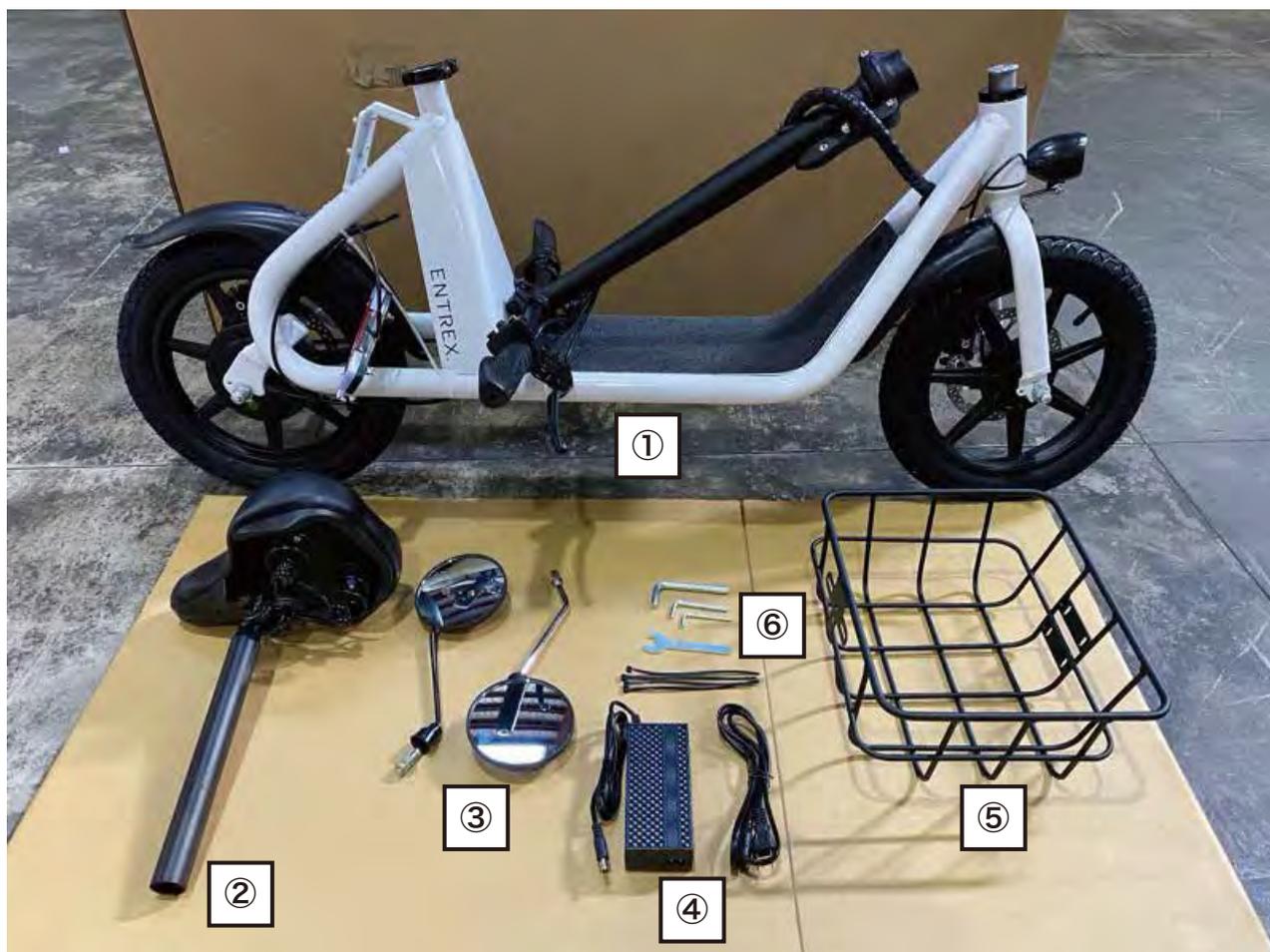
原動機付自転車販売証明書

購入者
住所 _____
氏名 _____
電話番号 () _____

メーカー名(車名)	車体番号	総排気量又は定格出力
-----------	------	------------

本書に記載した各事項に適合する原動機付自転車は、当社が上記内容に照準を以て検査いたしました。

3.2 組み立て方



- ① 車両本体
- ② サドル
- ③ ミラー(左右)
- ④ 充電アダプター(本体・コード)
- ⑤ かご
- ⑥ 六角レンチ(3本)、スパナ、結束バンド(4本)

充電器の箱の中に工具が入っています。

この工具を用いて組み立てを行ってください。

※最初に内容物が全て揃っているか確認してください。

① ハンドルポストの取り付け



ハンドルポスト固定部のネジを外します。ハンドルポストのクイックレバーを解除しハンドルポストの横の六角レンチを2本緩めます。



ハンドルポスト固定部にハンドルポストをはめこみハンドルポスト固定部のネジを締めて固定します。
※この時にしっかりと固定しないとハンドルポストがグラツキ大変危険です。しっかりと固定してください。

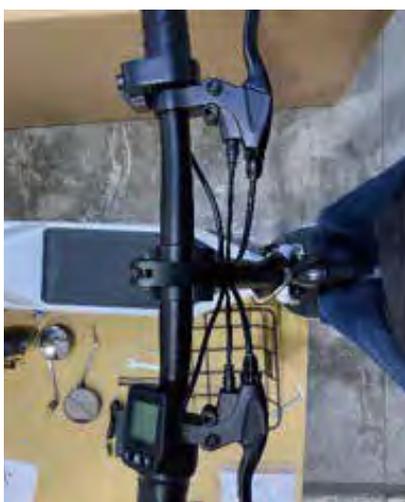


ハンドルポストの向きハンドルバーは正しい位置になるように合わせハンドルポスト固定部の六角レンチを締めてしっかりと固定します。

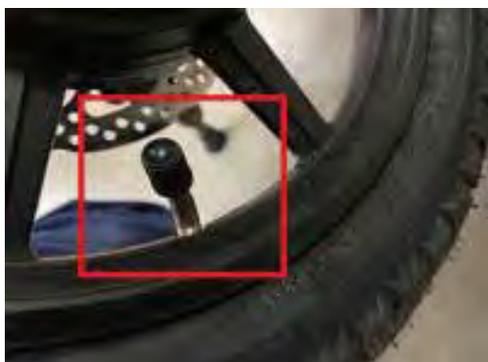
② ハンドルバーの調整



ハンドルバーの固定ノブを引き上げてハンドルバーの位置を調整します。この時にハンドルバーの長さが左右対称で地面に対して垂直になるように調整してください。位置が決まったら固定ノブを戻ししっかり固定してください。



③ タイヤの空気圧の確認



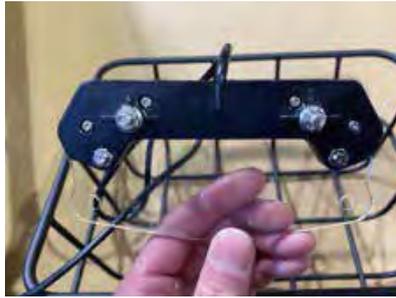
空気入れの形式は米式です。

空気を入れる際は、米式空気入れあるいはアダプターをご使用になって空気を入れてください。

空気圧目安(240-310Kpa)

かご及び方向指示器の取り付け方

① 方向指示器の付け方

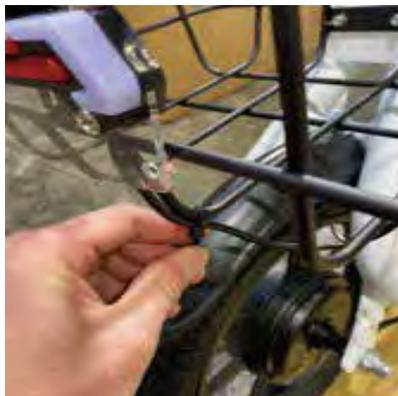


方向指示器の裏面のナットを外しかごの方向指示器取り付け位置に合わせます。
位置が決まったら先程のナットをスパナで締めて固定します。
※取付の際にブレーキランプのケーブルの取り回しを調整して取り付けてください。

② かごの取り付け方



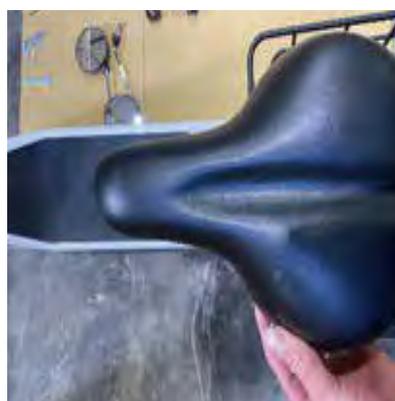
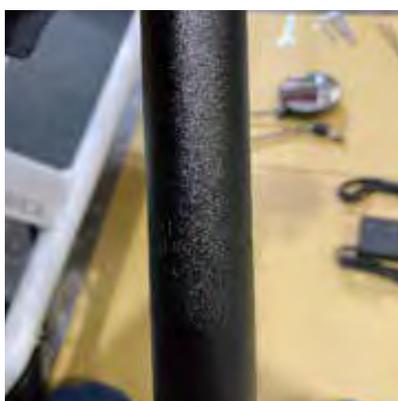
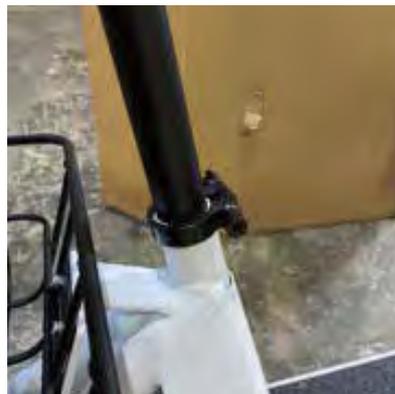
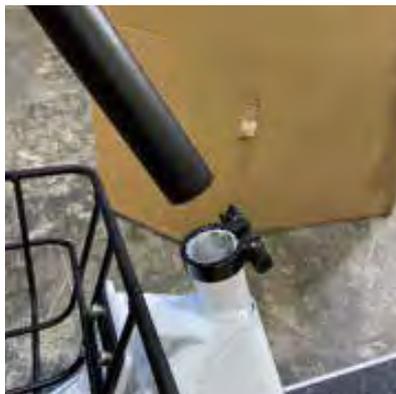
車両後方のかご取付位置のネジとワッシャーを4箇所外します。
かごを取り付け位置の穴に合わせてネジ、ワッシャーを付属の六角レンチにて締めて取り付けます。



かごを取り付けたら次に方向指示器のケーブルを結束バンドを用いてかごと車体フレームに固定します。
(フレームに 1箇所、かごに 3箇所)

コードがタイヤに当たってしまうと大変危険です。タイヤと干渉しないようにコードが外側を通る様に固定してください。
最後に結束バンドの余った部分をニッパー等で切り取ります。

サドルの取り付け方



サドルポストのストッパーネジを緩めストッパーノブを引き上げてください。

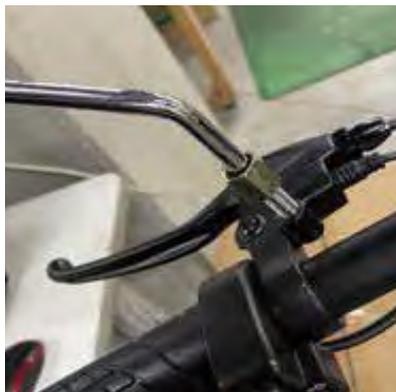
サドルをサドルポストにいれて座面の高さを決めてストッパーノブを戻しサドルを固定してください。

サドルポールに記載されている固定限界線より下部への取り付けはお止めください。

また使用中にサドルが動くと大変危険です。ストッパーノブのネジを締めてしっかり固定してください。

座面の向きが車両と並行になるように調整してください。

ミラーの取り付け方



ミラー下部のナットを反時計回りに回して最後部までずらしします。
ハンドルバーのミラー固定位置にミラーを右回りに回しながら入れていきます。



位置が決まったらミラーに付いているナットを時計周りにスパナで締めてしっかりと固定します。
ミラーは左右どちらも取り付けてください。
ネジの締め上げが弱いと走行中にミラーがずれて大変危険です。しっかりと固定されている事を確認しご使用ください。

誤った組み立て方法や取り付けを行うと、EV スクーターが故障するだけでなく、思わぬ事故や怪我をする原因になります。
取引説明書に記載の方法で正しく組み立ててください。

3.3EV スクーターの操作方法



操作機器は、ハンドルの左側に方向指示器、ホーン、ライトを操作するスイッチ及び後輪ブレーキがあります。ハンドル右側には電源スイッチ及び速度計、スピードモードを表示するデジタルディスプレイと前輪ブレーキがあります。

①ハンドル左側の方向指示器は、左右を矢印で表示しています。またその下にホーン、上に前照灯のスイッチになっています。

②ハンドル右側についているデジタルディスプレイの M ボタンを長押しすることで電源が入り再度長押しすることで電源が切れます。ディスプレイのプラス及びマイナスボタンはスピードのモードボタンになっております。



スピードメーター表示

各種表示

TRIP 表示 (走行距離)、
ODO 表示 (積算距離)、
電流値表示、
電圧表示

M ボタンを押すことによって表示画面を切り替えられます。
※電源を切ると TRIP メーターはリセットされます。

バッテリー残量表示

モード表示

ECO : 低速モード
MID : 中速モード
HIGH : 高速モード



③ハンドルの右側にアクセルレバーがあります。手前にまわすとスピードが出ます。スロットルを全開にしてスタートすると急発進して非常に危険です。スロットルは徐々に開けていきスピードの出しすぎには十分にご注意ください。



④ハンドル左側のライトボタンを押すとヘッドライト、テールライトの点灯、消灯が切り替えられます。
※点灯させずに走行する事は法令で禁じられています。走行中は必ず点灯させてください。



⑤ハンドル左側の方向指示器を左にスライドすると左のウィンカーが点灯し右にスライドすると右のウィンカーが点灯します。

4. 充電について

4.1 充電の方法

- ①充電場所は本体の下部(足置き部分)にあります。写真をご参照ください。
- ②充電ケーブルを充電ポートに差し込みます。
故障や事故の原因となる恐れがありますので充電ポートにゴミや異物がない事と乾いていることを確認してからケーブルを差し込んでください。
- ③充電中は充電器のインジケータランプが赤く点灯します。ランプが緑色に変わったらバッテリーがフル充電の状態です。フル充電が完了したら充電を停止してください。充電完了後、充電ケーブルを外し充電を止めないと、バッテリーの寿命に影響します。
- ④充電が完了したら、充電ポートに蓋をしてゴミや埃が入らないようにしてください。



4.2 安全に充電していただく為の注意点

- ・最初の操作時には十分に充電してからご使用ください。
- ・バッテリーの寿命を最大限に延ばすために、月に1回は充電を行ってください。適切な温度で充電してください。
- ・充電時間以上に充電し続けると、バッテリーが損傷する可能性があります。
- ・同梱されている本製品用のバッテリー、充電器、充電ケーブルを使用し、バッテリーが過充電されないようにしてください。
- ・通気性の良い環境で、充電ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- ・必ず乾燥した環境でご使用ください。感電の原因となる可能性があるため、充電器や充電ケーブルが・水に触れないようにしてください。
- ・濡れた手で触れないでください。充電中に問題が発生した場合には、ただちに充電プラグを抜いてください。
- ・必ずプラグを抜いて、充電ケーブルからプラグを引っ張らないようにしてください。
- ・充電器や充電ケーブルを鋭利なものや高温の物に接触させないでください。
- ・充電器と充電ケーブルの目視検査を定期的に行ってください。
- ・充電ケーブルに明らかな損傷がある場合は、さらなる損傷を避けるために充電器を使用しないでください。交換についてはお問い合わせください。
- ・定期的に充電してください。長時間使用しない場合、内臓充電地の劣化を防ぐため、一カ月に一回を目安に充電してください。長い間使用しなかった場合には、充電時間が長くなる場合があります。

- ・バッテリー、充電器、充電ケーブルをご自身で修理しないでください。ご不明な点がございましたらお問い合わせください。
- ・充電時間は充電環境に左右されます。また、充電環境が悪いと充電器やバッテリーの故障の原因となります。下記の諸条件を満たす場所を選んで充電してください。
 - 平坦で安定がよいところ
 - 夜露や雨水に濡れないところ
 - 直射日光の当たらないところ
 - 風通しがよく、湿気の無いところ
 - 幼児やペットなどがいたずらをしないところ
 - 充電中の周囲の温度が -10℃～ 40℃の範囲内の場所

5 乗車前の注意事項

乗車している間や駐車中に損傷が発生すると、製品の性能に影響を及ぼしますので、乗車前に下記内容を確認してください。

- ・部品が安全に取り付けられ、損傷していないかどうか確認してください。
- ・ブレーキが問題無く動作するか確認してください。
- ・充電は充分かどうかを確認してください。
- ・タイヤの状態が良いか確認してください。
- ・ハンドルに緩みの兆候がないか確認してください。緩みがある場合は締めてください。
- ・乗車練習する場合は、屋内外を問わず広い場所が必要です。
- ・交通ルールを十分に確認し車や歩行者、ペット、自転車、その他の物の邪魔にならないように注意してください。
- ・滑りやすい場所では乗車しないでください。
- ・起こりうるケガを避けるため、ヘルメット、保護具を着用するようにしてください。
- ・悪天候(雪、雨、雹など)での使用は避けてください。

6. 安全上の注意

- ・乗車中はヘルメットと保護具を着用してください。
- ・傾斜 15 度を超える登り坂ではスピードやパワーが著しく落ちてしまったり、登れない可能性があります。交通の妨げになる危険性がありますのでご注意ください。
- ・障害物や滑りやすい道路に注意してください。芝生や砂利道では乗らないでください。
- ・深さ 30mm を超える水溜まりには入らないでください。
- ・階段を上り下りするなどの運転はお止めください。
- ・本車両は一人乗用ですので複数人数で乗車しないでください。
- ・スロットルグリップを急激に手前に回すと、急発進して危険です
- ・ブレーキは徐々に、絞り込むようにかけるのが上手なかけかたです。余裕をもったブレーキ操作をしてください。
- ・不要な急ブレーキはかけないでください。急ブレーキをかけると横滑りや転倒の原因となるときがあります。また、タイヤをロックさせ車体の安全性を損なう恐れがあります。
- ・カーブ走行の時は、スピードの出し過ぎに十分注意して下さい。
- ・濡れた路面では、晴天時よりブレーキ停止距離が長くなります。速度を落として走り、早めにブレーキを掛けるなど余裕を持って操作して下さい。
- ・下り坂では、スロットルグリップを戻して、速度に応じてブレーキを掛けながらゆっくり走ってください。

- ・連続的なブレーキ操作を避けて下さい。ブレーキ部の温度上昇の原因となり、ブレーキの効きが悪くなる恐れがありますので避けて下さい。
- ・水たまりを走行した後や雨天走行時には、ブレーキの効き具合が悪くなる事があります。水たまりを走行した後などは、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意、低速で走行しながらブレーキを軽く作動させて、ブレーキの効き具合を確認して下さい。
- ・駐車する場合は周囲に迷惑のかからない場所に移動し、駐車させてください。
- ・平坦な場所に駐車してください。やむを得ず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは転倒や動きだしの無いようにしてください。
- ・本車両には鍵がありません。盗難予防のため、駐車するときは必ずロック錠などを用いて盗難対策を行ってください。

7. 日常点検

車両は常に清潔に手入れをし、定められた点検整備を必ず行いましょう。日常点検は、電動バイクを使用する方が1日1回運転する前に実施する点検です。安全快適にお乗りいただくために必ず実施してください。

●日常点検の方法

・ブレーキレバーの遊び、きき具合の点検・ブレーキの遊びの点検

ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じるまでのレバーの先端部の遊びが規定の範囲にあるかを点検します。遊びの目安は、6mm～8mm

・ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、前輪ブレーキ、後輪ブレーキを別々に作動させたときのきき具合を点検します。

・タイヤの空気圧

タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。たわみ状態が異常な時は、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧 (240-310Kpa) にしてください。

・タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないか、また、釘、石、その他の異物が刺さっていないかを点検します。

・モーターの作動、異音の点検

電源をオンにしたとき、モーターから異音がしないかを点検します。

・低速、加速の状態の点検

スロットルグリップを徐々に廻して加速した時、スロットルグリップもモーターもスムーズに回るかを走行するなどして点検します。異常を感じたら、最寄りの販売店もしくは弊社サポートセンターにご相談ください。

・バッテリー充電残量の点検

電源をオンにした時、バッテリー充電量が走行可能な範囲内であるか確認してください。

・灯火装置の点検

・フロントライト・テールランプ・ナンバープレートランプが点灯するかを点検します。

・前輪ブレーキレバー、後輪ブレーキレバーを別々に握り、ブレーキランプが点灯するかを点検します。

・方向指示器スイッチを操作し、前後左右の方向指示灯が正常に点滅するかを点検します。

8. メンテナンス

点検をして車に異常がみとめられたときには、調整、清掃、交換などの整備が必要となります。安全のため、ご自身の知識、技量に合わせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容は最寄りの販売店や弊社サポートセンターにご相談ください。

点検・整備するときは安全に十分に注意し、下記の内容を守ってください。

- ・点検・整備は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。
- ・停止直後の点検は、モーターが熱くなっています。
- ・走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。

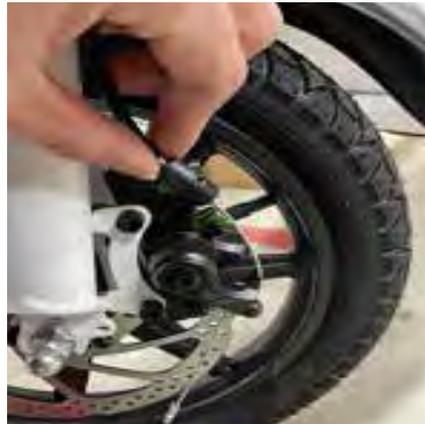
・ブレーキの遊びの調整

前、後輪ブレーキレバー先端部の遊びが6～8mmになるようにアジャスターで調整します。

・ディスクブレーキの調整

フレームに固定されたブレーキに六角レンチを挿入し、右側に回すと「きつくする」、左側に回すと「緩める」調整ができます。最初はゆっくりと左側に回して、ブレーキが少し緩むようにします。次に、ハンドブレーキを握り、リアブレーキパッドがしっかりと継続して挟まれるかを確認します。

ブレーキがしっかりと固定されるまで、六角レンチを右向きに回してきつく調整し次にブレーキが自動的に元の位置に戻るまで緩めます。最後にブレーキパッドが干渉せずに適切な位置になっているか確認してください。



9. 保管の仕方

- ・ 保管場所
- ・ 直射日光の当たる場所に保管しないでください。車のトランクに保管することも避けてください。
- ・ 屋内の乾燥している場所で風通しがよく、湿気の無いところで保管してください
- ・ 車両が濡れた状態で保管しないでください。
- ・ 本車両には鍵がありません。盗難予防のため、駐車するときは必ずロック錠などを用いて盗難対策を行ってください。

10. 廃棄処理

- ・ お住いの自治体の指示に従って廃棄してください。

11. 製品仕様

品名	RIDAM EVスクーター
カラー	ブラック／ホワイト
品番	4992831950202 / 4992831950219
重量	19kg
耐荷重	120kg
最高速度	20km/h
登坂角度	15°
走行距離	約30~35Km (Test by 75kg driver)
スクリーン	LED
タイヤサイズ	Front14"/Rear14"inch
ブレーキ	Front/Rear disc-brake
組み立て後サイズ	W1320D530H127mm
充電器	AC110-240V/50-60Hz
充電時間	約5時間
モーター出力	350W
バッテリー	36V 10Ah Li battery
充電サイクル	約500回

〈注意：上記のデータは以下の環境で測定されています〉

気温 25°、負荷 75kg、平坦な道路。

気温や道路環境、使用状況により走行距離は変化致します。



【販売元】

株式会社アントレックス

〒 160-0022 東京都新宿区新宿2-19-1 ビッグス 7階

【お問い合わせ先】

株式会社アントレックス お客様サポートセンター

〒 300-4102 茨城県土浦市本郷字原山20-27

E-mail support@entrex.co.jp